

平成 29 年度第 3 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所： 平成 29 年 12 月 4 日（月）13 時 30 分～15 時 40 分 評議会室

出席者： 廣川理事長、堺井副理事長、倉茂理事、山根理事、田端理事、上原委員、
須江委員、高橋委員、村山委員、渡辺委員

欠席者： 小出委員

事務局： 中嶋事務局次長、山田総務グループ統括、三和田財務グループ統括、吉野経
営企画グループ統括、北村学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ
統括、草川地域連携推進グループ統括、中川副参事、上田主任主事

開会冒頭、廣川理事長より教員の懲戒処分について、改めてお詫びと資料に基づき処分の内
容および再発防止策の取り組みの報告があった。

【審議事項】

（1）第 3 期中期計画（案）について

理事長、副理事長、各理事より資料に基づき説明があり、質疑、意見交換を行った。
委員からは、以下のような意見があり、出された意見等も踏まえて、資料に基づき県
に認可の申請を行うことが承認された。なお、今後の県との協議や県の指導等による
必要な修正については、常勤役員に一任することが了承された。

（主な意見）

- ・数値目標の現状が示されると、設定された数値目標のレベルや目標に向かってどの
程度努力が必要かなどわかりやすいのではないかな。
- ・専門用語（例えば、3つのポリシー、学力の3要素）については、外部にもわかりや
すく表記されるとよいのではないかな。
- ・地域貢献に関して、地域産業の高度化への寄与に言及されてもよいのではないかな。
- ・留学支援として、海外大学等との留学協定の締結を進めることは大事である。
- ・研究については、国の関係予算などの情報を早く入手し、財政基盤の確保、研究の
活性化に資するためにもUR Aは必要であり、できるだけ早期に導入されるとよい
のではないかな。
- ・大学事務の効率化、改善等のため、ICTを活用していくとよいのではないかな。
- ・生涯教育については、生涯学習と表記する必要はないか、確認されてはどうか。
- ・サービス業をはじめとする人手不足、生産性向上の課題解決を含め、県内中小企業
の振興や人材育成のため、大学の持つ資源の提供や研究技術支援は必要であり、企
業と大学とが連携した支援の仕組みづくりをお願いしたい。

(2) 平成 30 年度予算（案）について

三和田財務グループ統括から資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 平成 29 年度補正予算（案）について

三和田財務グループ統括から資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 平成 29 年度教職員給与の改定等について

山田総務グループ統括から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり、滋賀県における条例等の改正状況に応じて本学教職員の給与の改定等を行うことが承認された。

【報告事項】

(1) 平成 29 年度中間決算の概要について

資料に基づき三和田財務グループ統括から報告があった。

(2) 平成 29 年度科研費採択結果に基づく公立大学での本学の順位について

資料に基づき吉野経営企画グループ統括から報告があった。

【資料配布】

(1) 平成 29 年度卒業・修了予定者の進路・就職内定状況等について

(2) 入学試験の日程について

【その他】

(1) 平成 30 年度からの第 3 期中期計画期間を見据え、本学の財政基盤の強化を図る方策について、以下のような意見があった。

- ・ 現有の資源を最大限活用することが大事である。例えば、生涯学習の講座等、教育プログラムを広く提供する、財産権を活用したロイヤルティ収入の確保、模試や資格試験等の試験会場の誘致が考えられる。
- ・ 研究者を招聘して、研究センターの設置や寄附講座の開設等による外部資金の獲得が考えられる。
- ・ 外部資金による研究の公募情報を教員に随時発信し、質の良い外部資金を獲得する。

(2) 次回の経営協議会開催日程について

吉野経営企画グループ統括から連絡があった。